

令和7年度 学校評価アンケート 分析報告書

1. 概況と強み

吹上高校に対する全体的な満足度は高く、生徒・保護者・教職員の三者において、学校の教育方針や専門教育の質に対して一定の信頼が寄せられています。

- ・ **学校満足度と帰属意識:** 生徒の多くが入学してよかったと感じており、特に卒業を控えた3年生で高い満足度が見られます。
- ・ **専門教育と進路指導:** 専門科目の内容や資格取得指導、進路情報の提供について、生徒・保護者の双方から肯定的に評価されています。
- ・ **教職員の熱意と協力体制:** 教員は生徒に対して親身であり、相談しやすい環境が整っています。また、教職員間の協力体制も良好で、組織的な教育活動が行われています。
- ・ **部活動の成果:** 陸上部をはじめとする活動を通じて、技術のみならず精神面やボランティア精神の育成が図られている点に感謝の声があります。

2. 最優先課題(共通認識)

三者のデータから、以下の2点が学校全体の最も深刻な課題として浮き彫りになりました。

- ・ **交通マナーの欠如:**
 - 全アンケート項目の中で最も評価が低く、特に保護者や地域、教職員から厳しい指摘(一時停止無視、速度超過、バイクの危険運転等)が出ています。
 - 喫煙やコンビニでのマナーなど、校外での生活態度全般の改善が求められています。
- ・ **家庭学習習慣の未確立:**
 - 平日の宅習時間が「0分」または「1時間未満」の生徒が圧倒的多数を占めています。
 - 授業の工夫は評価されているものの、それが家庭での学習習慣(宿題・予習復習)に結びついていないのが現状です。

3. 改善が求められる事項

- ・ **指導の統一性と透明性:** 校則(頭髪、スマホ、アルバイト等)の指導について、教員間で対応に差があると感じている生徒がおり、指導基準の明確化と共有が必要です。
- ・ **教職員の倫理観と学習環境:** 一部の教員による不適切な発言や態度、清潔感、生徒との距離感について保護者から懸念の声があり、教職員の資質向上が課題です。
- ・ **生徒の主体性育成:** 教員側の「丁寧に指導している」という自己評価に対し、生徒の「挨拶」や「身だしなみ」の実践が十分に伴っていないというギャップが存在します。

4. 今後の方向性

1. **地域・警察と連携した交通指導の強化:** 生徒の意識改革を促す具体的な対策の実施。
2. **学習意欲を家庭に繋げる仕組み作り:** 授業内での働きかけを家庭学習に繋げる具体的な方策の検討。
3. **指導体制の再点検:** 特別指導等の基準の透明化や、全教職員による一貫した生活指導の徹底。